

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/小児看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
小児看護学概論	NSP21_002	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 富士子	402	fujiko.yamamoto	金曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	小児看護の対象者である子どもの成長発達上の特徴及び小児看護の基本となる理念、子どもの人権、現代の子どもと家族の概況や倫理的観点から子どもの健康問題、小児看護の役割と課題について学ぶことを目的とする。子どもの全体像をイメージ化するために、各期の子どもと家族の成長・発達及び栄養の特徴、健康、家族、看護の特徴について学ぶ。小児と家族の諸統計から小児の健康問題の動向を知るとともに、小児に関連する保健医療福祉のシステム、および法規を知り具体的な施策について学習する。また、国内外の小児看護の変遷を学び包括的ケアへと発展してきている現代の小児看護の役割について学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> グレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> デイカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	子どもの成長発達過程やその特徴、また発達に関する理論を学ぶことにより、子どもと関わるうえで必要な知識をしっかりと身につけて欲しい。この科目で学んだ知識は小児看護援助論Ⅰ・Ⅱおよび小児看護学実習に繋がる重要な内容となるため、予習復習をしっかりと行って臨んで欲しい。また、日頃より国内外を問わず子どもに関するニュースに目を向け視野を広げて欲しい。				
教科書	系統的看護学講座Ⅰ 小児看護学概論・小児臨床看護総論 /著:奈良間美保 /医学書院 /2025				
参考書	ナーシング・グラフィカ・小児の発達と看護 /著:中野綾美 /メディカ出版 /2026				
外部教材	授業で使用するときにお知らせします。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	小児看護に必要な概念と子どもの権利について説明できる。	NS(1)(5)			
②	小児看護の変遷について国内外の社会的背景に関連させた説明ができる。	NS(1)(2)(5)			
③	子どもの成長発達に関する理論と各期の特徴について説明できる。	NS(1)(2)(3)			
④	小児期の成長発達段階の特徴をふまえた成長発達表を作成する。	NS(2)(5)			
⑤	小児看護に関する法律・施策について説明できる。	NS(1)(3)			
⑥	小児を取り巻く環境・社会システムと現代の小児看護の理念・役割について説明できる。	NS(2)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業ガイダンス、小児看護の理念と目標、小児看護の対象と変遷、子どもの権利と尊厳、小児保健統計を理解する。	講義	予習：教科書の第1章を読む。 復習：今日の授業で学んだ内容を整理しまとめる。	2	
2	小児の成長発達の原則と影響因子、形態的成長・機能的発達・心理社会的発達の評価、看護に必要な発達理論について理解する。	講義 GW	予習：教科書の第2章を読み、講義を聞く準備をする。 復習：今日の授業で学んだ内容を整理しまとめる。	4	
3	新生児・乳児期の成長発達の特徴と健康増進のための子どもと家族への看護について理解する。	講義	予習：教科書の第3章を読み、講義を聞く準備をする。 課題：乳児期の発育・発達のためやすを表に記入する。	4	
4	乳児期・幼児期の成長発達の特徴と健康増進のための子どもと家族への看護について理解する。	講義	予習：教科書の第4章を読み、講義を聞く準備をする。 課題：乳・幼児期の発育・発達のためやすを表に記入する。	4	
5	幼児・学童期の成長発達の特徴と健康増進のための子どもと家族への看護について理解する。	講義	予習：教科書の第4章を読み、講義を聞く準備をする。 課題：幼児期の発育・発達のためやすを表に記入する。 復習：学童期の成長発達の特徴を整理しまとめる。	4	

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/小児看護学】

6	思春期・青年期の成長発達の特徴と健康増進のための子どもと家族への看護について理解する。	講義	予習：教科書の第5章を読み、講義を聞く準備をする。 復習：思春期・青年期の成長発達の特徴を整理しまとめる。	4				
7	家族の特徴を理解し、子どもと家族を取り巻く環境、現代家族の特徴について理解する。	講義 GW	予習：教科書の第6章を読み、講義を聞く準備をする。 復習：今日の授業で学んだ内容を整理しまとめる。	4				
8	小児期の健康に関する社会制度、母子保健施策について理解する。 まとめ	講義	予習：教科書の第7章を読み、講義を聞く準備をする。 復習：今日の授業で学んだ内容を整理しまとめる。	4				
試	定期試験：達成度評価、評価のポイント参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		90	10	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	70	10	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験期間に、試験を実施する。小児看護学の理念、発達理論、各成長発達段階の特徴、社会制度と施策、子どもの権利と尊厳など授業で学んだ内容の理解度を評価する。				試験の採点后、メールまたは teams にて講評・解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①		乳幼児期の発育・発達のためやすについて、レジュメやテキストをもとに各自で表(指定用紙)にまとめたものを評価する。 提出は第8回授業の開始前とし、未提出・提出遅れは減点対象となる。				評価後に返却する。	
	②							
	③							
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教 員 の 実 務 経 験	担当する看護教員は、病院の看護師として15年以上の実務経験を有したものが担当する。							
実践的授業の内容	子どもの各期の成長発達の特徴や発達段階に応じた看護について学ぶ。子どもの成長発達過程にともなう課題や解決策、また現代社会における子どもを取り巻く環境について学生自身が考えられるように授業を進める。授業開始前に前回授業の確認テストを行い、知識が不十分な部分を明確にして学習に活かせるようにする。							
そ の 他	・学習内容や授業方法が変更になる場合は事前に説明をする。 ・私語は禁止、携帯電話や電子機器の使用は教員の許可があるときに限る。							